

新たな出発

小規模保育所開園に向けて

神戸YWCAが公益財団法人に移行したのは3年前。以前と比べて社会貢献する団体として、公共性・公益性が見えるようになったであろうか、また「女性の視点」や「キリスト教基盤」に立つという理念のもとにある事業とはどのような内容がふさわしいのだろうかと私どもは問うてきた。昨年度から理事会は、神戸YWCAの将来を見据えながら幾度も協議を重ねた結果、小規模保育事業に取り組むこととなった。神戸市において私どもの計画申請が受理されたのは、今夏8月末のことである。

さて、この小規模保育事業だが、本年4月から始まった子ども子育て支援新制度の仕組みの一つとして位置づけたものである。いわゆる施設型の幼稚園や保育所と違って、小さな規模で地域密着型、0～2歳児を温かい家庭的な雰囲気のもとに保育する。

顧みれば、1987年上筒井通に新会館が建設されたとき、日本語教育の専門学校と、「ライフ&ピースセンター」と称する、命と生活が守られる生涯学習と活動の場が生まれた。ここで、女性の視点を生かした、託児プログラム、3歳児保育、外国人のためのプレスクールなどの子育て支援事業を行ってきた経緯がある。それらは、震災後も地域福祉活動として、幼児のためのプログラムや、産後ヘルプサービス、一時預かり保育などとして引き継がれ、好評である。

現在、私どものさまざまな地域活動から周囲を見ると、若い女性たちの意識や環境が社会構造の変化に適応できず、生きづらい現実に直面している姿があることに気付かされる。仕事、自己の成長のための趣味や学習、家事や育児な



どの家庭生活、それらの調和(ワーク・ライフ・バランス)を期待しても実現できないからだ。この小規模保育事業はそれ自体が子育てをする若い女性の支援になると考える。また、神戸YWCAの他の多様な活動や事業と連携して、課題を抱えつつ子育てしている親たちと共に解決の道を探っていくことができることはYWCAならではの働きとなるだろう。この事業によって神戸YWCAを拠り所として若い人たちがエンパワーされることをも願っている。

事業開始に際して神戸市を通じて施設改修の補助金が得られるので、会館1階を改装して保育室を設ける予定である。また毎月の給付費が人件費・運営費として保障されていることは事業の安定と継続につながると考えている。

保育環境を整え、イエス・キリストの歩みに倣って幼児一人ひとりを大切に成長発達をふまえた保育内容をつくっていくことは保育士をはじめ専門家の仕事となるが、この事業は神戸YWCAにとって将来に希望をつなぐ新たな出発点となるであろう。

早速、2016年4月1日開園に向けて準備にとりかかります。神戸YWCAの会員、そして関係者の方々には期待と祈りをもって、ご理解とご支援くださることを心よりお願いいたします。(理事長 平山芳子)

世界YWCA・YMCA 合同祈祷週

11月8日(日)～14日(土)

テーマ「希望あれ」

礼拝

11月10日(火) 9:00～ 参加費：無料

場所：神戸YWCA会館5階チャペル

静まりのとき (共に冊子を読みながら黙想します)

11月9日(月)～14日(土) 毎日12:30から30分



神戸YWCA
ふれあい感謝バザー
入場無料!
神戸YWCA 本館
10/12 月祝 10:30～14:30

国語辞典の遊び方

神戸YWCA学院同窓会は、20年前に神戸YWCA学院修了生の集いの場として立ち上げられ、交流会と勉強会を行なってきました。そして毎年、学院と共催で研修会を開催しています。

今年のテーマは「国語辞典」で、サンキュータツオさんを講師にお迎えします。サンキューさんは日本初の学者芸人で、アニメオタクとしても有名、珍論文や傘のコレクターとしても知られています。国語辞典も200冊収集しておられると聞いて驚きました。ことばの解釈もいろいろ違うとのこと。知識を深める絶好の機会です。

国語辞典が身近にある方もそうでない方もどなたでも楽しめるお話が伺えると思います。ぜひお問い合わせの上、ご参加ください。

(田庭 里恵)



11月22日(日)

13:30 ~ 15:30

(講演会後、茶話会があります)

講師: **サンキュータツオ**さん

(芸人・一橋大学非常勤講師)

参加費: **2,000**円(一般)

1,000円(同窓会員)

「平和の木に花が咲くとき ～ひろしま平和大使 田村秀子さんを迎えて～」

今夏は原爆投下から70年目を迎えた。

8月13日午後、自らの被爆体験をもとに、生涯を反核兵器、平和のために投じてこられた

アメリカ在住の田村秀子さんを神戸YWCAにお迎えし、平和への想いを語っていただいた。

田村さんは広島市の平和大使として来日された。神戸YWCAではロゴバレー平和合唱団での出会いから9年の年月を経て神戸での再会を喜びあった。

その若い日を過ごした広島での原爆による悲惨な出来事、そしてアメリカで過ごした日々のこと、その間多くの人との出会いにより、たいへんな困難や挫折を乗り越えてきたことなどを話された。

今日までの田村さんの平和への熱い思いと行動力に感動、私も何かしなければとの思いを新たにしたいと時であった。

(宮田 泰子)



高齢者向け配食サービス「わいわいランチ」は、18年目を迎えている。
この「ランチ」グループ活動を支えるのは、約40人のボランティアであることをご存知だろうか。60〜70歳代が圧倒的に多いが、20歳代の若者までが活動している。

グループの活動を紹介します!

わいわいランチ

月に1回来る人から、週1〜2回の人まで、その人に合ったスタイルで長く関わってくださっている方が多く、大きな感謝!である。

活動内容としては、朝8時半から調理、9時半から容器洗浄、配膳、11時〜12時半に配達、を分担して5〜7人でおこなっている。配達後のみんな揃っての食事やコーヒータイムが「お楽しみ」で、活動の励みにもなっている。その後の片付けは1時半〜2時ごろに終了。

さて、6月頃に降って湧いたような「キッチン改修」の話が出て、8月夏休みに実施できた。夏休み前の荷物の大移動と断捨離、天井や壁のペンキ塗り、休み明け前の新キッチンへの移動等の大仕事もボランティアのみんなで成し遂げた。(やるしかなかったのであるが)「全体が明るく、広くなった」「清潔感溢れるスペースとなった」「使い勝手がよく、調理するところが増え、快適」「火力が強くなって、天ぷらや炒めものがよりおいしく出来あがる」「シンクが二つになって、洗い物がしやすくなった」「おニューの換気扇の音がすると、しっかりと換気してるな」と嬉しくなる」等の声があがっている。

新キッチンを活用して、もっとたくさんのお弁当をお届けしたい、分室でのお食事や販売も考えたいものである。

(井上みち子)

❖「どうなってるの、今の日本!？」に参加して

8月19日(水)の夜、「どうなってるの、今の日本!？」をテーマに、今国会で審議された「安全保障関連法案」について話し合う場が本館1階ロビーでもたれた。参加したお二人に感想をお願いした。

安全保障関連法案という難しいテーマの会で、どのような展開になるのだろうと少し身構えての参加でした。司会進行の斎藤さんの「誰かに自分の意見を伝えるために、論理と言葉が必要で、これらを獲得する場にして欲しい」には激しく同意。ひとつの結論を出すための場ではないことがすばらしい。

参加者の意見を聞いているうちに、国同士のトラブルを解決する方法としての武力行使について、深く考えないといけないと感じました。また、言葉の定義付けとその共有がとても大事だと感じました。人のナマの意見を聞くことができる刺激的な場で、新しい言葉と考え方をいくつか獲得でき、井の中の蛙の井戸の枠の幅が少し広がりました。最後のネット動画「ヒゲの隊長に教えてあげてみた」も秀逸(笑)。おいしいおにぎりご馳走様でした。(谷垣 法久)

ぴかぴかと電球が光る、いつもとちょっと違った夜の本館ロビー。運営委員のおいしい手作りおばんざいをいただきながら、普段抱いているギモンを出してみたり、他の人の意見を聞いたり、自分の考えを思い切って声にしてみたり。

政治・安全保障・平和などという広く深い問題に、自分の意見をもつ

ガス給湯器をセカンドハウスに!

維持管理のために応援してください



今にも止まるかもしれない給湯器

神戸YWCA 被災者支援プロジェクト

2011年から継続している神戸YWCAのセカンドハウス。これまで福島県はじめ近隣の61家族206人が利用してきてくださった。

セカンドハウスを運用するには、どうしても掃除や洗濯、家屋の維持管理が必要で、それはこれまで大家さんやボランティアの方々の手弁当による働きによって支えられてきた。しかし先日、ガス給湯器の調子が悪くなり、ガス会社から「いつ止まってもおかしくない」との宣告を受けてしまった!

ガス給湯器は約25万円。放射能被災と闘う家族のために、セカンドサポート募金にぜひご協力ください!(西本 玲子)

にはどこから考えたらいいんだろう。何をきっかけに友だちや家族と話したらいいだろう。たくさん考えました。だから1時間30分の共有の時間があつという間に感じられた。そして、私も自分で考えることのできる一人になりたいと思った。

この場に集ったメンバー全員で考える時間を共有できたことに感謝したい。これをきっかけに、神戸YWCAでいろんな輪が広がってほしいなと願っている。その一歩をまず自分から。

(原田 雅子)



神戸YWCA チャリティーライブ

シュトウケンイチ

BLUES NIGHT

10月17日(土) 18:30 開演

神戸YWCA 会館5階チャペル

2,000円(1ドリンク・スナック付き)

伝説のロックバンド、ザ☆キャバレーやコック・ア・ドゥードゥルズのボーカルとして圧倒的な人気を誇るシュトウケンイチのソロライブ。ブルースやロックを基調としたオリジナル曲を中心に、トム・ウェイツ、荒井由実や河島英五のカバーなども演奏予定。

秋の一夜、ほろ酔い気分で味わっていただきたい。

このライブの収益金は、来年4月に開所する「神戸YWCA 小規模保育所」運営のために使われる。こどもたちの成長を応援してください!



YWCAとの出会いは、日本語教師養成講座に通い始めたことだった。女性ばかりの事務所、

意見を交わしながらエレベーターに乗り込む女性たち、いつたいここでは何をされているのか、大変興味を抱いたことを記憶している。世界で直面している問題に対し、世代、職業関係なく、今私たちに何ができるのか、常に渦中の人への思いやりをもって活動されている姿に惹かれた。身近にある社会問題に目を留めて、少し立ち止まり、何が出来るか考える、当たり前のようなことだが、子育て・仕事に追われると忘れがちになる。常にアンテナをはり行動することを教わった。

私が所属する国際相互支援部は、気兼ねなく楽しく活動することを一番に考えてくれるメンバーがいる。互いに尊重し、気持ちよい環境こそ、素晴らしいアイデアも生まれ、長く続く活動力ともなる。昨年度から「難民」をテーマに世界で起きている現実を知ろうと、セミナー参加や勉強会を重ねてきた。世界のあちこちで起きている現実を驚かされ、次は、国内における現実を知ろうと、11月7日、日本で初めて、ネパールの難民認定を取った弁護士チームのおひとり、伊藤朝日太郎さんをお招きし、恒例の「TTW(4面参照)」を開催する。ぜひご参加ください。

(小野木愛)

神戸YWCAへの おさそい

(注) 場所の記載のないものはすべて神戸YWCA 会館

●わいわい科学クラブ (小学生対象)

10月17日(土)
①10時～11時30分②13時～14時30分(2部制)
「牛乳パックの<かんたんカメラ>」
参加費 1回200円

11月21日(土)
①10時～12時②14時～16時(2部制)
「くらしが関西プラン<もけいグライダー>」

☆3年生以上、低学年は必ず大人同伴で
参加費 1回400円
*両月とも要申し込み

●文学講座

『徒然草』を読む
10月20日(火)・11月17日(火)
13時30分～15時30分

2015年度の
会費、まだの方は
お早めに!



講師 笠原芳光さん(京都精華大学名誉教授)
参加費 1,500円(1回)

●アドベントのアフタヌーン・ティー
「クリスマスキャロルのお国めぐり～独唱とお話」
12月1日(火) 13時30分～16時
出演 阿部恩さん(音楽療法士、前頌栄短期大学学長)
参加費 1,500円

●Peace Bridge (ピース・ブリッジ)
「よみがえる最前線～神戸と核と日米同盟」
10月17日(土) 14時～16時30分
講師 坪井兵輔さん(毎日放送報道局)
場所 神戸学生青年センター 会議室A
参加費 500円

●神戸YWCA クリスマス
12月5日(土)

神戸YWCA 小規模保育園(仮称)

開園につき、
以下を募集します。

管理者 1人
(保育士資格要。保育所
経験3年以上 60歳未満)

保育士
常勤 1人 非常勤 2人
栄養士又は調理師
非常勤 1人

お問い合わせは
寺内(総幹事)まで。

■ 学院だより

日本語コースでは8月3～21日の3週間、子どもたち15人が、寄付に支えられて「勉強に役立つ日本語クラス」で楽しく学んだ。また、二宮及び若菜地区の夏祭りに参加。これは文化庁委託事業の一環で、地域在住外国人と地域との共生に向けたプログラムの一つであった。

レギュラーコースⅡ期は初級・中級各1クラスを開講。また、9月25日から3か月間の委託訓練「日本語・就業カススキルアップコース」を開講する。(原田 雅子)

■ まごの手だより

65歳以上のうち認知症を発症している人は2012年で約462万人に上り、2025年では700万人を超えると推測されている。65歳以上の5人に1人である。

「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるように」との発題で、9月6日「ひょうごん福祉ネット(制度外サービス実施団体)」で「徘徊ーマリン 87歳の夏ー」というドキュメンタリー映画の上映&交流会を開催した。雨にも関わらず約400人

が参加し、大盛況だった。認知症に対する地域の理解を進め、住民が主体的に関わる居場所を増やすことで、介護予防、認知症の早期発見につながる。

分室でも「カフェもぐもぐ」が9月から月1回オープンした。(松田 恵美子)

■ 分室だより

この夏、分室に業務用の厨房機器が入った。コンロの火力が強くなり作業効率が上がった。壁も床も照明も新しくなり清潔感が漂う。

9月24日にオープンする若年性認知症の人のための「カフェもぐもぐ」のために兵庫県から補助金をいただき、改装することができた。

新しい厨房で、当事者の方々が運営するカフェの開催が可能になる。若年性認知症の人の居場所や仕事作りが始まるうとしている。

ぜひご協力、ご支援をいただきたい。(大江 雅子)

■ 運営委員会報告

(9月)【報告】理事会報告▶分室活動の確認(カフェもぐもぐ等▶WAM助成の件▶8月の活動報告および活動予告。

【議事】組織検討について▶安全保障関連法案の勉強会のふりかえり▶3市Yについて▶新しい取り組みの進め方の確認。

(鶴崎 祥子)

■ 編集後記

新たななる事業が楽しみです。若い方々の係わりができて、大切なものが増えそうです。

(T・K)

今年のTTW (Taste the World) は…?

ネパールを味わい ネパールを知る



ヨーロッパでは、シリアからの多くの難民が流入し、大きな問題になっています。日本の難民をめぐる事情はどうなっているのでしょうか。日本で初めてネパール人の難民認定を勝ち取った弁護士チームのひとり・伊藤朝日太郎さんをお招きし、おはなしを伺います。ネパール料理をいただきながら、ネパールのこと、世界のこと、日本のことを考えましょう。

11月7日(土) 17:30開始(17:00開場)

ゲスト: 伊藤 朝日太郎(キーストーン法律事務所)

場所: 神戸YWCA 会館5階チャペル

参加費: 1,500円(食事付き、学生は800円)

食事はネパール料理店「ダウラギリ」から!!

11月4日(水) までにお申し込みください。

主催: 国際相互支援部



ゴーフル®

いいものは
時代をこえて
生き続けます



神戸風月堂

本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



(有) 佐野葬祭

代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



0120-592-392

(24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

尼崎市潮江4丁目2-2
URL: <http://sanosousai.com>